

令和3年度 北斗市立小・中学校 全国学力・学習状況調査の結果をお知らせします

この調査は、文部科学省が幅広く全国の児童生徒の学力や学習状況を把握することなどを目的として実施しています。しかし、実施教科が小学校・中学校ともに2教科のみであることや学習指導要領の全体を網羅するものではありません。したがって、調査の結果は、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことに留意する必要があります。この結果のみで、学校や児童生徒を評価できるものではありません。

また、北斗市教育委員会では、全国学力・学習状況調査の結果を例年のように中規模校、大規模校についてのみ公表いたします。今後も、学校は、保護者、地域と一体となって学力向上や学習環境の整備に取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

北斗市教育委員会

調査の概要

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るため、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てるために調査を行っています。

○調査実施日

令和3年5月27日（木）

1 調査の対象

- ・小学校第6学年の児童
- ・中学校第3学年の生徒

2 教科に関する調査

- ・小学校：国語、算数
- ・中学校：国語、数学

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり、常に活用できるように becoming することが望ましい知識・技能など。

② 知識・技能を実生活のさまざまな場面に活用する力や、さまざまな課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力など。

※ ①と②を一体的に問う

3 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

① 児童生徒に対する調査

- ・学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

② 学校に対する調査

- ・学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備

の状況等に関する調査

小学校

1 教科に関する調査

北斗市内小学校各教科の平均正答率 (%)

6年生 378人

	国語	算数	合計
北斗市	63	66	129
北海道	63	67	130
全国	64.7	70.2	134.9
道との差	0	-1	-1
全国との差	-1.7	-4.2	-5.9

※北斗市と北海道の正答率は整数値で提供されています。

○小学校では、国語で全国を下回り、全道と同じ平均正答率、算数で全国、全道の平均正答率を下回っています。

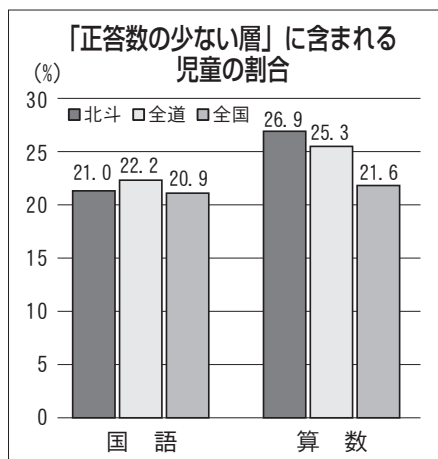
○国語では、「知識及び技能」で全国平均正答率を上回りましたが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」で、全国平均を下回りました。

○算数では、「数と計算」「図形」「測定」「変化と関係」「データの活用」の全てで、全国平均正答率を下回りました。

○北斗市では、必要最低限の学力を全ての子どもたちに身に付けさせるため、「正答数の少ない層」の底上げを重点とし、その結果として、各教科の平均正答率が全国以上になることを目指しています。

ています。「正答数の少ない層」の割合は、少ないほど望ましいこととなります。

今年度、小学校では、国語で0・1割、算数で5・3割、全国より「正答数の少ない層」が多くなり、北斗市が目指す目標を達成できませんでした。



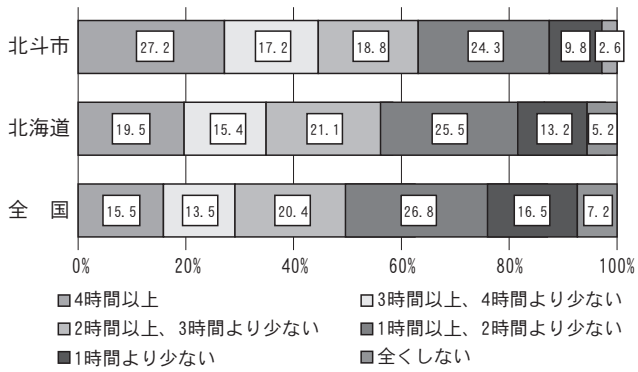
2 児童への質問紙調査

○学習や生活習慣についての質問では、平日、学校の授業以外に一日あたり一時間以上勉強している児童の割合は全国を7・2割下回り、一時間以上ゲームをしている児童の割合は、11・3割上回りました。日常生活時間の使い方には課題があります。

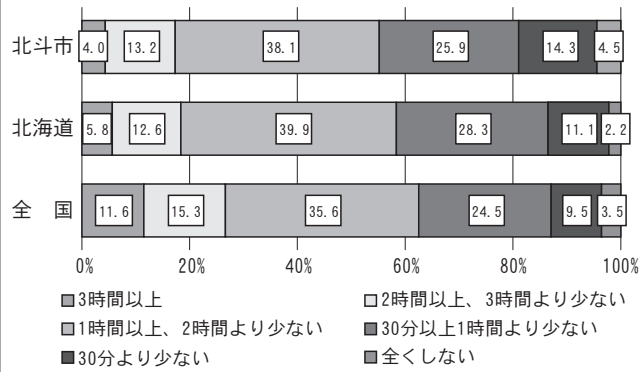
また、朝食を毎日食べている児童の割合は、78・3%で、依然として全国・全道平均を下回っています（全国85・8%、全道83・7%）。

○「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した割合は、27・8%で、全国・全道を下回っています。

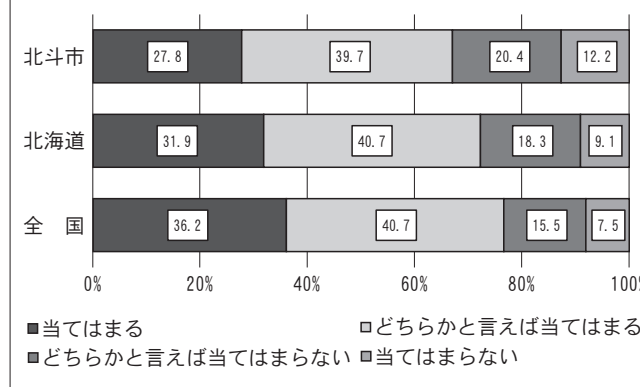
普段1日あたり（月～金）どれくらいの時間、ゲームをしますか



学校の授業時間以外に、1日あたり（月～金）どれくらいの時間、勉強しますか



自分には、よいところがあると思いますか



自分の良さを肯定的に認めることができるということは、子どもの生活の中でも、とても重要なことです。自己肯定感の高い子どもは、人間関係の構築や規範意識などで、良い傾向にあると言われています。また、今回の北斗市小学校の調査では、「自分によいところがある」に肯定的な児童ほど国語の学力が高い結果が出ています。

○「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に、「持っている」と回答した割合は、50・0%で、全国・全道を下回っています（全国60・2%、全道58・8%）。前回調査（令和元年度）より18・4ポイント減少しています。

○「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した割合は、32・0%で、全国・

全道を下回っています（全国47・9%、全道45・6%）。前回調査（令和元年度）より20・3ポイント減少しています。

3 学力向上の取り組み

○「1 教科に関する調査」「2 児童への質問紙調査」の結果からわかるように、今回の調査では多くの課題が明らかになりました。市内各小学校では、結果を分析し、実態に合わせた改善に取り組んでいます。

小学校4校の平均正答率（%）

	国語	算数	合計
A	59	61	120
B	67	72	139
C	55	61	116
D	65	67	132

※各校の正答率は整数値で提供されています。

【課題解決・改善の取り組み】

① わかりやすい授業のために
 ・子どもたちが学習の見通しをもてるように、一単位時間の学習過程（学習の流れ）を統一しています。
 ・児童が、課題を解決するための時間や場面を確保するようにしています。
 ・学習することがわかりやすい、「めあて」の提示を工夫しています。
 ・学習意欲や学習効果を高めるため、ICT機器（学習用端末）の有効活用を努めています。

②

・自分の考えを表現したり、対話的な場面を組み込んだりする授業の展開に努めています。
 ・教科にとらわれず、複数文章や資料を結び付け、必要な情報を取捨選択するような機会を授業の中に設けるよう、工夫しています。
 ・授業の質を高めるため、専科指導や少人数指導を実施しています。
 ・安心して学ぶことができる環境を整えるため、学習用具や授業のきまりの徹底を図っています。
 ② 児童の学習意欲向上のために
 ・基礎的な学力の底上げを目指し、朝学習やサポート学習を行っています。
 ・読書習慣を身に付けられるよう、朝読書や読書通帳を活用しています。
 ・自分で学習する習慣を育てるため、「家庭学習の手引き」を作成し、家庭学習のやり方の指導をしています。
 ・生活時間を振り返る習慣を育てるため、生活リズムチェックシートを活用しています。

③

③ その他の取り組み
 ・基礎学力の向上のため、「ほっかいどうチャレンジテスト」を活用しています。
 ・漢字への関心や習得意欲を高めるため、漢字検定を実施しています。
 ・示された条件に合わせた記述ができるようになるため、条件付き作文の指導を継続的に行っています。

1 教科に関する調査

北斗市内中学校各教科の平均正答率 (%)

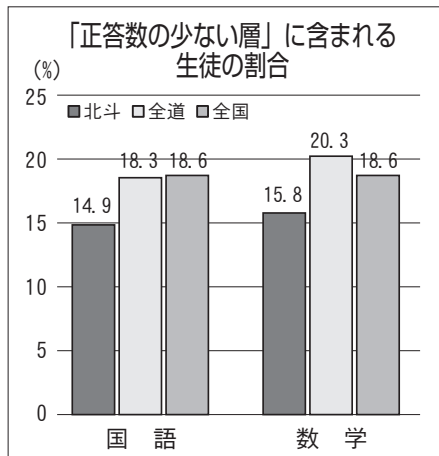
3年生 国語 403人 数学 404人

	国 語	数 学	合 計
北 斗 市	67	58	125
北 海 道	65	56	121
全 国	64.6	57.2	121.8
道との差	+2	+2	+4
全国との差	+2.4	+0.8	+3.2

※北斗市と北海道の正答率は整数値で提供されています。

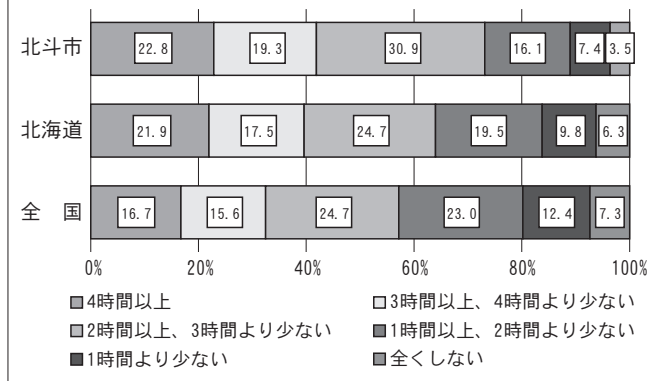
- 中学校では、国語・数学ともに全国・全道の平均正答率を上回っています。
- 国語では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の全てで、全国・全道の平均正答率を上回りました。
- 数学では、「数と式」で、全国平均を下回り、全道平均を上回りました。「図形」「関数」「資料の活用」で、全国・全道の平均正答率を上回りました。
- 中学校では、国語で3・7割、数学で2・8割、全国より「正答数の少ない層」が少なく、北斗市が目指す目標を達成しました。

2 生徒への質問紙調査

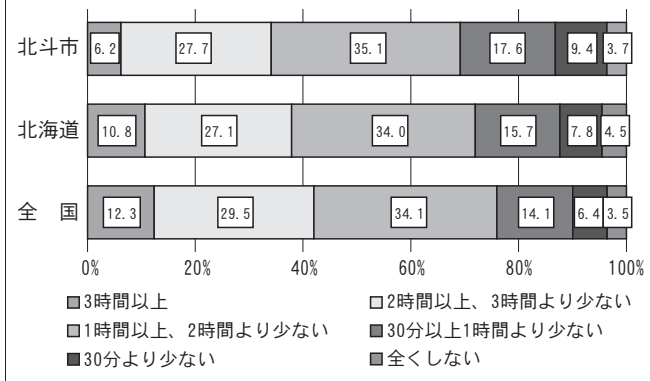


- 学習や生活習慣についての質問では、平日、学校の授業以外に一日あたり一時間以上勉強している生徒の割合は全国を6・9割下回り、一時間以上ゲームをしている生徒の割合は、9・1割を上回りました。中学生も学習時間が短く、ゲームの時間が長い傾向が見られ、日常生活時間の使い方に課題があります。
- また、朝食を毎日食べている生徒の割合は、79・0%で、依然として全国・全道平均を下回っています(全国81・8%、全道80・0%)。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した割合は、42・1%で、全国・全道を上回っています。
- 自分の良さを肯定的に認めることができるということは、中学生でも、人間関係の構築などで、良い傾向にあります。今回の北斗市中学校の調査では、「自分によいところがある」に肯定的

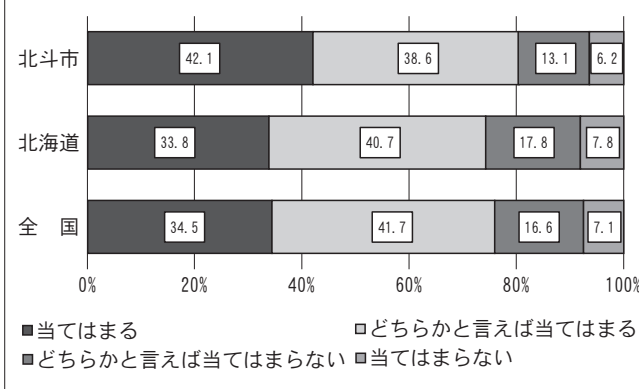
普段1日あたり(月～金) どれくらいの時間、ゲームをしますか



学校の授業時間以外に、1日あたり(月～金) どれくらいの時間、勉強しますか



自分には、よいところがあると思いますか



- 小学生同様、中学校でも明らかになっ
- 「将来の夢や目標を持っていますか」という質問に、「持っている」と回答した割合は、43・8%で、全国・全道を上回っています(全国40・5%、全道40・1%)。しかし、中学生も前回調査(令和元年度)より6・2割減少しています。
- 「学校に行くのは楽しいと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した割合は、39・6%で、全国を下回り、全道を上回っています(全国43・3%、全道38・5%)。これも前回調査(令和元年度)より2・2割減少しています。
- 3 学力向上の取り組み

中学校3校の平均正答率 (%)

	国 語	数 学	合 計
A	61	53	114
B	70	62	132
C	69	58	127

※各校の正答率は整数値で提供されています。

た課題を解決するため、結果を分析し、改善に取り組んでいます。

【課題解決・改善の取り組み】

① わかりやすい授業のために

- ・授業始めの目標の提示と、終末のまとめや振り返りを継続して行っています。
- ・一人一人がわかりやすく、見通しを持って取り組めるよう、目標や課題の設定を工夫しています。
- ・客観的な視点から授業を振り返り、わかる授業を教職員全体でつくっていくため、生徒による授業評価を行っています。

- ・わかりやすい授業づくりのため、ICTの積極的な活用に使っています。
- ・「自分の考えをもつ、考えを伝える」ことができる生徒の育成のため、そうした場面を設定した授業づくりを教科横断的に実施しています。
- ・数学の図形指導で、視覚に訴えるような授業展開のため、ICTを効果

的に活用しています。

②

- ・数学的な見方・考え方を伸ばすために、他者にわかりやすく説明したり、交流したりしています。
- ・数学科で習熟度別授業を実施しています。
- ・生徒の学習意欲向上のために基礎基本事項の習得のため、放課後や長期休業中のサポート学習を実施しています。
- ・学校と家庭の学習をつなげるため、家庭学習の計画をサポートする時間を毎日設定しています。
- ・生活時間を振り返る習慣を育てるため、生活リズムチェックシートを活用しています。
- ・学校行事や校外活動、外部講師による講話などを充実させ、経験の幅や価値観をひろげる活動を実施しています。

③

- ・その他の取り組み
- ・基礎学力の向上のため、「ほっかいどうチャレンジテスト」を活用しています。
- ・「北斗市学力向上の日」に、1・2年生一斉道徳で『学ぶことの意義』を考える授業を実施しています。
- ・「学びのスタンダード」を作成し、啓発活動をしています。

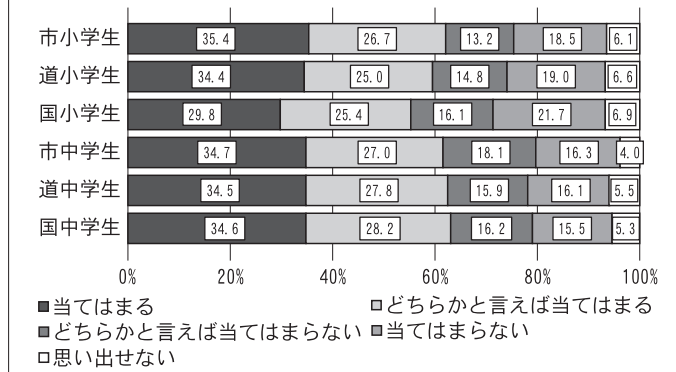
新型コロナウイルス感染症の影響について

○今年度のみの質問として、新型コロナウイルス感染症に関する質問が何問かありました。

○「休校期間中、計画的に学習を続ける

ことができずましたか」という質問に対して、「当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国・全道を下回っています（小学校Ⅱ市23・8%、全国29・8%、全道27・5%。中学校Ⅱ市10・1%、全国11・3%、全道10・4%）。

新型コロナウイルス感染症拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強に不安を感じましたか



○他にも、「休校期間中、規則正しい生活を送っていましたか」という質問に対して、「当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国を下回っています。

○この結果から、北斗市の子どもたちも、新型コロナウイルス感染症による休校の影響を大きく受けていたと考えられます。

子どもたちの健やかな成長のために

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国・全道を上回っています（小学校Ⅱ市88・6%、全国84・1%、全道87・5%。中学校Ⅱ市92・1%、全国81・4%、全道83・7%）。

○他にも、「友達と協力するのは楽しい」「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞く」という質問に対して、「当てはまる」と答えている児童生徒の割合が、全国・全道を上回っています。

○このように、北斗市の子どもたちには、良いところがたくさんあります。

しかし、お知らせしたとおり、「ゲームの時間が長く、学習時間が短い」といった課題に対しては、一日の過ごし方、時間の使い方の見直しが必要です。

また、小学生で低かった自尊心を高めるためには、がんばった達成感に加えて、認められ、賞賛されるという経験も大切です。

北斗市の子どもたちは、新型コロナウイルス感染症によって大きな影響を受けながらも、前向きにがんばっていますので、各ご家庭、市民の皆さまにおかれましては、そんな子どもたちにおかしく寄り添い、温かい励ましをお願いいたします。

（教育委員会 指導室）